

月刊 やちまなこ

2019. 4.15 発行

No.257

4月号

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

雪解けの道をしばらく歩いて丘の上から見る湖は蒼い水を湛え、僅かに残る氷上で羽を休めるオジロワシ、オオワシの傍をオオハクチョウが次々と飛んで行く。枯草色の湿原から鳥の鳴き声に似たエゾアカガエルの声が聞こえ、長い冬から解放されたことを祝うようにも聞こえる。林の中でも野鳥たちの賑やかなさえずりとともにアカゲラのドラミングが響く。まるで削岩機のような音と振動に睡眠を邪魔されたエゾモモンガ、何かと驚いて外へ出たものの、吹きつける早春の風の冷たさに我慢できず、まるで吸い込まれるように巣穴へと姿を消した。



塘路フィールドノート【3/15～4/14】

【野鳥】

現在の塘路湖では氷上のワシ、湖面のカモ、上空のアオサギなど、どこを見渡しても野鳥の姿が目飛び込んできます。ワシやカモたちとはもうすぐお別れですが、入れ替わるように夏鳥たちのさえざりが聞こえてくる頃です。



オオワシ (塘路湖)

氷上でたたずむ成鳥。鏡のような湖面には逆さオオワシの姿が映し出されていました



オジロワシ (塘路湖)

氷上の成鳥(左)と若鳥(右)。多い時は10～15羽ほどで集まっていることもあります



オオハクチョウ (塘路湖)

沖合の氷上で眠りこんでいるところ。グレーがかった色の左側3羽は若鳥



カワアイサ (塘路湖)

最も数が多く、安定して見られるカモ。沖合を群れで通過する姿もよく見られます



キンクロハジロ (塘路湖)

他のカモたちに紛れていたペア。少数派ながら、白黒のオスはすぐに目に留まります



コガモ♂とマガモ♀ (塘路湖)

手前がコガモで奥がマガモ。この位置関係で見ると大きさの違いがよくわかります



ヒドリガモ (塘路湖)

氷上で羽を休めていた群れ。今年は昨年よりも見かける機会が多いような気がします



ホオジロガモ♂ (塘路湖)

他のカモと比べて単独でいることが多いカモ。センター前の水域でも時々見かけます



ハシビロガモ (塘路湖)

4年ぶりの確認です。ヒシクイとヨシガモの群れに紛れていました(中央横向きの2羽)

【植物】

長かった冬がようやく終わり、湖畔の草原に少しずつ緑が戻ってきました。しかし、今年は4月の上旬にあまり気温が上がらなかったせいか、昨年に比べて全体的に植物たちの生育がやや遅れ気味ようです。



キタミフクジュソウ (塘路湖畔)

昨年見つけたセンター前の大株。昨年に比べると、今年は数輪花の数が少ないようです



フキノトウ (コッタロ湿原)

二本松橋近くの斜面であちこちから顔を出し始めていました。この花は雌花

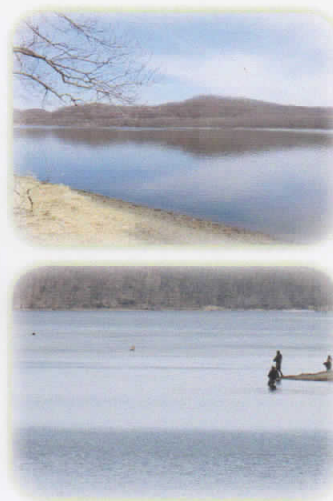


エゾエンゴサク (塘路湖畔)

センターの前で見つけた新芽。赤い部分はつぼみで、もうそろそろ開花する頃です

◎全面解氷間近の塘路湖

4月に入ってから寒い日が続き、なかなか解氷が進まなかった塘路湖ですが、中旬を迎えて春らしい暖かな陽気の日が増えるにつれて、一気に解氷が進んできました。現在センター付近から西側の水域はほぼ解氷し、沖合をカワアイサなどのカモたちが通過していく姿が見られます。一方、センター東側の水域ではまだ一部結氷している部分が残っていて、氷の上ではワシたちがたたずむ姿も見られます。しかし、その水域の氷もすでにグレーがかった色に変わってきており、もういつ解氷してもおかしくない状況です。ここ10年のデータでは、全面解氷日の平均は4月18日となっており、今年はそれよりも少し早い全面解氷となりそうです。



5月の自然ふれあい行事 (事前の申し込みが必要です)

春の湿原 野鳥観察会

【日 時】 5月4日(祝) 10時～12時

【定 員・参加料】 15名 無料

【開催場所】 シラルトロ湖・茅沼蝶の森周辺
(集合は憩いの家かや沼駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

アイヌ民族が利用した植物 ～春編～

【日 時】 5月12日(日) 10時～12時

【定 員・参加料】 15名 無料

【開催場所】 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

平成31年度 自然ふれあい行事予定表

●早春の湿原 野鳥観察会 応募締切りました 4月20日(土) 10時～12時 定員15名 早春の釧路湿原に生息する野鳥を散策しながら観察します。	●晩秋の湿原 野鳥観察会 10月26日(土) 10時～12時 定員15名 越冬のため釧路湿原に渡ってきた野鳥を散策しながら観察します。
●春の湿原 野鳥観察会 応募受付中!! 5月4日(祝) 10時～12時 定員15名 繁殖のため釧路湿原に渡ってきた野鳥を散策しながら観察します。	●バードカービング初心者講座 3回目 11月10日(日) 11時～15時 2回目の続き。
●新緑の湿原 野鳥観察会 6月1日(土) 10時～12時 定員15名 新緑が目立ち始めたフィールドを散策しながら、野鳥観察をします。	●クリスマスリースを作ろう 11月23日(祝) 13時～15時 定員10名 松ぼっくりや木の実などの自然の素材を使ってリースを作ります。
●縄文土器作り講座 7月6日(土) 10時～14時 定員15名 縄文時代の遺跡が残る塘路、当時の土器を参考にオリジナル土器を作ります。	●バードカービング初心者講座 4回目 12月8日(日) 11時～15時 3回目の続き。
●バードカービング展 7月21日(日)～8月12日(祝) 10時～17時 平成29年度自然ふれあい行事「バードカービング講座」の参加者と講師の作品展です。	●バードカービング初心者講座 5回目 1月5日(日) 11時～15時 4回目の続き。
●釧路湿原 自然と歴史を訪ねて 8月10日(土) 10時～12時 定員10名 シラトロ湖畔・茅沼蝶の森周辺を散策しながら、釧路湿原の自然や遺跡を観察します。	●連凧を作って揚げよう 1月18日(土) 10時～12時 定員15名 自作の凧に干支文字やイラスト等を描いて、新年を迎えた湿原の空に揚げしてみましょう。
●バードカービング初心者講座 1回目 9月8日(日) 10時～15時 定員10名 釧路湿原に生息する野鳥を参考に、角材を削り彩色して作品を作る講座です。	●釧路湿原フィールドウォッチング 2月8日(土) 10時～12時 定員10名 雪のフィールドを散策しながら釧路湿原の自然や遺跡を観察します。スノーシュー使用。
●ムックリ(口琴)を作ろう 10月19日(土) 13時～15時 定員15名 アイヌ人が使っていた楽器ムックリを作って、その音色を楽しみましょう。	●塘路フィールドウォッチング 3月7日(土) 10時～12時 定員10名 雪のフィールドを散策しながら塘路の自然や遺跡などを観察します。スノーシュー使用。
●バードカービング初心者講座 2回目 10月20日(日) 11時～15時 前回の続き。	※事前の申し込みが必要です。 (バードカービング展を除く) ※申込み先：塘路湖エコミュージアムセンター ※定員に達し次第締切となります。

◆日出・日入時間 3/15(5:35,17:28). 3/31(5:07,17:47). 4/14(4:43,18:03)

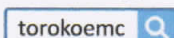
～編集後記～

■湖を覆っていた氷もほとんど消え、枯草色の湿原にエゾアカガエルの賑やかな鳴き声が聞こえるところとなりました。桜前線も徐々に北上しているようですが、釧路地方の開花予想は5月中旬とのことです。4月から6月にかけて風の強い日が多くなり、昨年4月にはサルボ展望台付近の丘陵地で野火が発生しました。屋外での火やゴミなどの管理には十分注意してください。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
 TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
 E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料